

仙台高等専門学校 令和3年度数理・データサイエンス・AI教育プログラム・内部評価

評価日時: 令和4年4月28日

会議名称: 評価・改善統括室

開催場所: 仙台高等専門学校

目的: 令和3年度のデータサイエンス教育プログラムの内部評価

評価項目: 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」の審査項目の観点による評価

自己評価の視点	自己評価案	審査結果	コメント
プログラムの履修・修得状況	履修者の状況についてはクラス担任や授業担当の教員において情報共有をしてきた。教務企画室においては、履修状況や単位の取得状況をとりまとめ、状況を把握してきた。本プログラムの対象科目は必修科目を中心にし、選択科目についても履修を希望する全ての学生が履修できるように時間割を構成している。また、学生にもプログラムの修了要件と履修すべき科目を説明することで履修を促している。これにより、履修率も高く維持できる見込みである。	承認	履修・単位取得状況および履修者の出席状況は学内の教務WEBシステムにて管理・共有されている。よって、現状では学修成果の取りまとめおよび管理は適切に実施されている。
学修成果	各授業担当者および教務企画室にて履修・単位取得の状況は把握されている。また、別添のその他補足資料に添付したような授業評価アンケートを実施している。本アンケートを確認する範囲では、受講した学生の理解度などは高く、学習成果があるように伺うことができる。	承認	仙台高専授業評価システムを用いて、授業評価アンケートが実施されており、学修成果が管理・共有されている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	別添のその他補足資料に添付したような授業評価アンケートを実施している。本アンケートを確認する範囲では、受講した学生の理解度などは高く、学習成果があるように伺うことができる。	承認	アンケート結果からの授業改善の検証手法の検討が必要と考えられる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムに関わる科目は、主に必修科目で構成することで、履修および修得を促す。また、選択科目についても、全学生が履修できる時間割とする。	承認	学生への本プログラムの周知を行うことが望ましい。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	関連科目の学年ごとの履修率は必修は100%、選択科目は80%弱となっている。選択科目の履修については、学生に周知することで履修率向上が図れる。	承認	カリキュラム内の、必修科目のみでの授業構成が望ましい。また、学生への本プログラムの周知を行うことが望ましい。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	令和4年3月卒業時点で修了者はいない。	承認	
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本プログラムの科目を含めた教育プログラムの内容および手法については、運営諮問会議の委員から高い評価を得ており、期待されている。	承認	外部への発信は、webページの公開によって行われるとのことなので、継続して公開することが望ましい。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	単なる知識の教授ではなく、社会での利活用についても含めたり、実データを用いた実習を含むことで学ぶ楽しさや学ぶことの意義を理解させている。	承認	社会での利活用についての調査し、学生に伝える方法を検討するとよい。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	授業評価アンケートに基づき授業の改善を継続することと、新しい情報を常に意識して追加することで分かりやすい授業を実現している。	承認	産業界からの意見を集約してフィードバックすることも必要である。